

科目名 Course Name	家事支援技術Ⅱ Household Supporting Skills II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	阿部芳子						
連絡先(質問等)	福祉棟 3F 研究室か、メールで対応。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP1,DP2,DP3						
授業の概要と到達目標	自立に向けた家事の介護について学ぶ。特に、生活支援としての身の回りの整理・洗濯・掃除・ゴミ捨て、衣類・寝具の衛生管理や裁縫、買い物など、基本的な生活運営ができるよう技術を修得する。 <到達目標> ①基本的な生活運営ができるようにする。 ②利用者の状況に応じた介助・支援が即戦力としてできるようにする。						
授業の方法	テーマに沿った実習・実技と知識で、より家事支援技術の実践・応用力をつけられるように進める。 自身の生活の場の特徴などを確認しながら、今日の生活支援者の状況を想定し、家事技術の即戦力となれるよう授業を進める。						
学習成果	L01	生活支援としての身の回りの家事の介助を学び、基礎的な支援ができる。					
	L02						
	L03	利用者の状況に応じて、介助支援の領域を広げることができる。 家事支援の多領域にわたり、利用者の状況に寄り添った支援ができる。 利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにできることができ、実践の場で細かな支援に気づき、行動できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	実習物やレポート等は提出後、速やかに講評し今後役に役立つようする。						
教科書/参考図書	生活支援技術Ⅰ(介護福祉士養成講座編集委員会編) プリント配布						
履修上の留意点やルール等	●調査や提出物等の期限提出 ●資格取得科目につき、積極的な授業参加であること ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	遅刻・欠席がなく、意欲的に授業参加できたか。	20			
レポート/作品	テーマに沿った内容を自ら調査、まとめ、期限内に提出されたか評価する。			50	
発表	内容が分かりやすく発表されたか、発表態度は適切であったか評価する。			30	
小テスト					
試験					
その他					
合計		20		80	
回数	授業計画				
1	授業内容	授業ガイダンス、衣生活の内容、衣服の種類とサイズ			

	<b>事前・事後学習</b>	季節ごとの衣服着用状況とクローゼットの確認、整理・保管状態をレポートにまとめる。(レポート)
2	<b>授業内容</b>	寝具・寝衣の種類・衛生管理
	<b>事前・事後学習</b>	保温性・吸湿性・快適性との関係および寝床環境をレポートにまとめる。(レポート)
3	<b>授業内容</b>	衣生活と衣服・寝具素材 衣服材料と着心地を決めるもの
	<b>事前・事後学習</b>	繊維・布の種類をレポートにまとめる。(レポート)
4	<b>授業内容</b>	洗濯の方法 ① 衣類の汚れ落とし、シミの種類 (洗剤の種類) [実習]
	<b>事前・事後学習</b>	各種シミの洗濯法による汚れ落とし。水温、洗濯溶液濃度、洗剤の種類等を考える。
5	<b>授業内容</b>	洗濯の方法 ② 衣服のデザイン・構成別
	<b>事前・事後学習</b>	衣服の構造(織・編み)、複合素材・新素材の取り扱いなどを調べてみる。
6	<b>授業内容</b>	衣類の補修・保管
	<b>事前・事後学習</b>	収納方法・場所・保管場所の環境因子との関係を考える。
7	<b>授業内容</b>	障害者別、衣服のリフォームの紹介と提案 [実習]
	<b>事前・事後学習</b>	上衣・着用衣服の障害別リフォームを考える。(頭含)
8	<b>授業内容</b>	障害者別、衣類のリフォーム例 [実習]
	<b>事前・事後学習</b>	下衣・着用衣服の障害別リフォームを考える。(足含)
9	<b>授業内容</b>	掃除の仕方、高齢者居室の掃除、注意事項
	<b>事前・事後学習</b>	住居構造と素材別、利用者の身体状況、居室の環境因子との関係を考える。
10	<b>授業内容</b>	ゴミ捨て、分別・エコライフ、QOL向上のための支援
	<b>事前・事後学習</b>	環境改善のための取り組みを、事前・事後に心がけること。
11	<b>授業内容</b>	快適生活のための室礼(季節を楽しむ支援) ①
	<b>事前・事後学習</b>	四季の生活は日常にあり、衣服生活や寝床生活をはじめ、居室での快適生活を色と素材の面から提案を考える。
12	<b>授業内容</b>	快適生活のための室礼(利用者とともに演出) ② [発表]
	<b>事前・事後学習</b>	素材や色、その他、快適な生活のための提案を考える。
13	<b>授業内容</b>	自立に向けた生活支援 衣生活の側面から
	<b>事前・事後学習</b>	利用者に寄り添った提案を考える。
14	<b>授業内容</b>	安眠を促す介護、QOL向上のための支援
	<b>事前・事後学習</b>	枕・補助具・寝衣の提案、香りのある素材の利用など。
15	<b>授業内容</b>	まとめ:安眠のための介護や自立に向けた生活支援の発表
	<b>事前・事後学習</b>	総合的な観点から、利用者のQOL向上のための提案を復習する。